

大阪国際がんセンター がん悪液質セミナー

がん悪液質治療の最先端

－全人的な多職種医療の重要性－

日時

2025年 5月 19日 (月)
18:15～19:15

場所

大阪国際がんセンター 1階大講堂

備考

事前登録をお願いします。申込期日 5月15日(木)
※定員に達した時点で受付を終了します。

お申込みは
こちらから



がん悪液質治療における症状と QOL と多職種医療の重要性

オーガスタ大学 ジョージア医科大学
医学部 緩和医療部門 教授

エジディオ・デル・ファブロ 先生



米国のサポर्टィブケア・緩和ケアを専門とする医師で、米国腫瘍学会（ASCO）のがん悪液質治療ガイドラインの著者の一人。今回は「栄養摂取を障害する症状（Nutrition Impact Symptom）」に関する話題を中心に講演くださる予定です。

がん悪液質治療における 薬物治療の最先端

静岡がんセンター
支持療法センター長 / 呼吸器内科医長

内藤 立暁 先生



呼吸器内科の医師で、肺がんの治療を専門にされており、本邦におけるがん悪液質の臨床研究におけるトップランナーの一人。最近ではポンセグロマブ（GDF-15 阻害ヒト化モノクローナル抗体）の治験（Groarke JD et al. N Engl J Med 2024.）にも参加。がん治療における薬物療法の今後の展望について講演くださる予定です。

地域の医療者と当センターの全職員が対象です。がん悪液質治療の研究と臨床において、世界的にご活躍のお三人の講演が聞けるまたとない機会です。奮ってご参加ください。

主催：大阪国際がんセンター 支持・緩和医療科 / 緩和ケアセンター
お問い合わせ：大阪国際がんセンター 緩和ケアセンター Tel：06-6945-1181（代）